

査察官の一日 in バグダッド

岩本友則

私の滞在当時、最高気温は常に 51℃で一番高い時は 54℃と言う凄まじい暑さで雨が降ったのは、たったの 1 日でわずかな時間だけで、また、夜でも 33℃～36℃を超える焼け付く土地です。しかも、経済制裁の影響により頻繁に停電し、エアコンが動きません。あまりの暑さのため、まともに睡眠が取れる状態ではなく、とても身体にこたえる日々を過ごしたのです。

暑さに耐えて睡眠を取るためにバスタブに水を溜め、冷房が切れた時に、この水風呂には入り、身体を拭かないで濡れたままベッドに行き、蒸発潜熱を利用して睡眠を取るのです。

イラクでの活動組織

バグダッドの監視モニタリングセンター (BMVC) には 100 名から 150 名のスタッフが働いており、また、BMVC が置かれたカナルホテルには、その他ワールドフードプログラム、UNIKOM 及び UNOHCI という国連の組織が置かれ総勢 350 名～400 名のスタッフが常時働いていました。

私が滞在中 BMVC には、以下の査察グループが活動していました。

- ・兵器査察グループ
- ・化学兵器査察グループ
- ・生物兵器査察グループ
- ・核査察グループ
- ・ミサイルに関する査察グループ
- ・輸出入規制に関する査察グループ

更に、支援グループとして以下のグループがありました

- ・査察統括管理グループ
- ・保守グループ
- ・総務グループ
- ・医療グループ
- ・通訳グループ
- ・エアリアルチーム (ヘリコプターの操縦)



バグダッドの事務所にて

前線では、働き方改革は無縁

査察活動は、イスラム教の国であることから金曜日のみが休日となり、土曜日曜日は査察活動を行います。業務は各査察グループによって異なりますが、私が所属した核査察グループの 1 日は、下記のスケジュールで活動していました。

- ・ 7 時半に BMVC のカフェテリアで朝食
- ・ 8 時にミーティング
- ・ 9 時に査察現場に出発

- ・ 査察活動を 14 時頃までに終了（イラクの施設は暑さを避けるため、仕事を 13 時か 14 時で終了するため）
- ・ 15 時頃 BMVC のカフェテリアで昼食
- ・ 査察報告書の作成
- ・ 次の日の査察準備、査察機器の保守調整）
- ・ 20 時～23 時頃帰宅
- ・ 帰宅後夕食（イラクの一般的夕食時間は 21 時～23 時）

また、査察場所が遠い場合は、朝 6 時過ぎに朝食抜きで査察に行くこともしばしばあったのです。

この様な核査察グループの厳しい労働に対し、他のグループからはクレイジーグループと呼ばれていました。また、2 ヶ月強滞在して、私が休めたのはたったの 4 日、過酷な環境で過酷な労働に耐えたのです。そうです前線では働き方改革は無縁でした。

一方で有給休暇もあり、休暇を取ってイラク外に行きリフレッシュする権利も与えられておりましたが、リフレッシュ後の過酷労働復帰に自信が持てず私はその権利を放棄したのです。



査察に使う車両

ちなみに、私たちの査察活動に、イラク政府の随行者と共にマスコミ関係者が同行し、私たちの査察活動や会話等をビデオに納め、時としてテレビでその様子を放映するのです

続く。